

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	10-2
PDCA	主要事業名	高齢者運転免許自主返納促進事業	部課名	総務部防災安全課	担当	羽山	
					内線	287	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 2 単位施策：交通安全 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 5,692 千円 会計 一般会計 歳出科目 02.01.09.02.51 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 5,800 千円						
	事業概要等	事業概要： 高齢者の運転免許自主返納者に向けてバス利用券あるいはタクシー利用券を交付することで、免許返納後の移動を支援し、免許自主返納の促進につなげる。					
		事業目的： 移動手段を支援することで免許返納を促し、加齢に伴う認知機能低下に起因する交通事故の低減を図る。					
		事業内容： 自主的に運転免許を返納した高齢者にバス利用券あるいはタクシー利用券を選択制により交付する。					
		問題点・課題等： 平成30年10月から再編した公共交通バス環境を前提とした支援内容であるため、バス環境の維持向上が課題となる。					
	予算額	主要事業とする理由					
	5,692 千円	移動需要の高まりを見据えた地域公共交通の整備に併せ、加齢に伴う認知機能低下に起因する交通事故の低減を図るため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	加齢に伴う認知機能低下に起因する交通事故の低減が期待できるほか、副次的な効果として公共バスの利用の促進にもつながる。					
	5,692 千円						
	国費						
	0 千円						
	県費						
	0 千円						
	その他						
0 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	3,458 千円	高齢者の運転免許返納を促進することで、加齢に伴う認知機能低下に起因する潜在的な交通事故の低減を図ることができた。					
		成果指標					
						令和3年度	単位
		バス利用券又はタクシー利用券交付件数		実績値	390	件	
				目標値	469	件	
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 高齢者を対象とした事業やイベントが中止となる中、新たな試みとしてワクチン接種会場での案内や他課及び課内別事業の発送物にチラシを同封する等の方法により周知の強化を図った。その結果、コロナ禍による行動抑制はあったものの前年比27件増加となった。 本事業は、市内公共交通バス環境を前提とした支援内容であるため、バス環境の維持向上と連携して推進する必要がある。					
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 市内交通事故の低減に繋げるため、コロナ禍でも可能な方法で高齢者への制度周知を継続する。また、令和3年度の目標値はコロナ禍の影響を除外していたため、動向に合わせた目標値の設定を検討する。引き続き、支援の前提となる市バス事業や民間の公共交通事業と連携して制度の推進を図る。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	※対象・手段の変更
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		—

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用